《そう合問題１》

いろいろなしゅるいの文章問題をといてみよう。問題をとくときは、本文をよく読み、ないようをしっかり理かいすることが大切です。

【例題】

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

昔、ある男が湖でつりをしていました。いつもはあまり魚がかからないのですが、この日は運がよかったのか、次から次へと魚がとれます。男はよろこんで、何時間も湖のかたわらでつりをつづけていました。

すると、どこからか小さな、一ぴきのくもがやってきました。くもは男の足元によると、ぞうりの鼻お※に、くもの糸をまきつけました。

「おれのぞうりの鼻おを、木のえだとまちがえたのかな。」

男は、もうずいぶん長い間ここにいます。おれがあまりにもじっとしていたから、くもは鼻おを木のえだだと思いこんでしまったんだろう。すぐに糸を切ってしまってもかわいそうだ。そう思って、男はくもの糸を鼻おからはずさずに放っておいてやりました。

※　鼻お…げたやぞうりの、足の指ではさむひもの部分

(問)　―線部「そう思って」とありますが、「そう」とは何を指していますか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　いつもはつれないのに、今日は魚がよくつれること。
イ　やって来たくもが、とても小さかったこと。
ウ　すぐに糸を切ってはくもがかわいそうだということ。
エ　自分がじっと動かないこと。

【答え】　ウ

【かいせつ】

「そう思って」とは、男がくもの糸を切らなかった理由にあたります。鼻おを木のえだとしんじているくもの糸を、すぐに切ってしまってはかわいそうだと思ったので、男は糸を切らずに放っておいたので、ウが答えになります。

【練習しよう】

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

男の鼻おに細い糸をまきつけたくもは、いったん湖にもどりました。そして地上にあがってくると、また男の足元にもどり、もう一度糸をまきつけていきます。くもは何度もこの動作をくりかえしました。そのたびに、男の鼻おにかかる糸は太くなっていきます。

はじめはくもをほほえましい気持ちでながめていた男も、だんだんうすきみ悪くなってきました。くもがすを作るにしては様子がへんです。そこで、何十回目かにくもが湖にもどったすきを見はからって、そっと鼻おにまきつけられ

たくもの糸を、そばにあった木の切りかぶにつけ直しました。ほどなくして、湖からぶきみな音が聞こえてきたかと思うと、糸が急に強く引っぱられ始めたのです。

するとう、何ということでしょう。くもの糸はものすごい力で、切りかぶを湖に引きずりこもうとします。そしてついに、切りかぶは根元からすっぽりぬけて、湖にすいこまれてしまったのです。

男は、その様子を見てぞっとしました。

「あともうちょっと切りかぶに糸をかけるのがおそかったら……。」

そうして、男は転がるように家に向かってにげもどっていきました。

(問) ――線部「あともうちょっと切りかぶに糸をかけるのがおそかったら……」とありますが、もしそうだったら男はどうなっていましたか。あてはまるものを、あとのア～エの中からえらぼう。

ア　くもの糸を切ってしまっていた。
イ　くもに糸をまきつけてしまっていた。
ウ　切りかぶに糸をかけ終えてしまっていた。
エ　湖にすいこまれてしまっていた。

答え　エ

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

ぼくの父さんはあんまりかっこよくない。

父さんはオーケストラでコントラバスをひいている。でも、コントラバスと言っても、クラスメートでそれを知っている人なんてほとんどいない。

コントラバスはバイオリンににた形をしているけど、それよりずっと大きい。ぼくの身長より大きいのだ。オーケストラで、いつも父さんのとなりでコントラバスをひいている小がらな女の人は、コントラバスをかかえると見えなくなってしまいそうだ。父さんは、いつもそれをうでにかかえて家でコンサートの練習をしている。今も、一週間後にせまったコンサートにむけて練習中だ。ところが、父さんはピアノやバイオリンみたいにきれいなメロディをひくわけじゃない。「ヴォー、ヴォー」とへんなひくい音をたてるだけだ。父さんの練習を聞いているだけじゃ、①それが美しいクラシック音楽だなんて、とてもしんじられない。

父さんが楽ふを目で追うのを、②ぼくはちらりと見やった。

(なんで、もっとかっこいい楽きにしなかったんだろう。)

バイオリンとかトランペットなら、友だちにも自まんできるのに。父さんは、昔はバイオリンをやっていたんだそうだ。なのに、なんでコントラバスにかえてしまったんだろう。

明日がコンサートという日に、父さんの友だちが家に遊びに来た。その人は、父さんと同じオーケストラでバイオリンをひいている。ぼくは父さんがいないとき、その人にそっとたずねた。

「ねえ、なんで父さんはコントラバスなんて地味な楽きにしたんだろう。」

するとかれは目を丸くしたあと、ぼくに言った。

「コントラバスは地味なんかじゃないよ。明日のコンサート、聞きに来てごらん。」

そしてコンサート当じつ。いつもは、はなやかなトランペットやバイオリンにばかり目がいっていたぼくだけど、③今日は父さんばかりを見ていた。なぜあの人はあんなことを言ったんだろう。父さんのコントラバスの音は、いつもほかの楽きの音にかき消されてしまう。どう考えたって、はでな楽きなんかじゃない。

ところが、ほかの楽きの音がとつぜんやんで、父さんが、たった一人でコントラバスをひきだした。それはとても悲しげで、でもとてもきれいな音だった。ずっしりとおなかにひびいてくる音は力強くて、地味なんかじゃなかった。

④そんな音を出している父さんは、いつもよりずっときりっとした顔をしていて、とてもかっこよかった。

その日の夜、ぼくはビールを飲んでごきげんな父さんに話しかけた。

「ね、今日の父さん、けっこうかっこよかったよ。」

父さんはびっくりしたようにぼくを見て、それからニコニコとほほえんだ。その顔は、コントラバスをひいていたときの顔とはぜんぜんちがっていたけれど、やっぱりぼくは父さんとコントラバスが、オーケストラで一番かっこいいと思った。

（１）「ぼく」のお父さんは、何をひいていますか。

（２）――①線部「それ」とは、何を指していますか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　バイオリンの音
イ　かっこいい楽きの音
ウ　父さんが練習で出す音
エ　きれいなメロディの音

（３）――②線部「ぼくはちらりと見やった」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちを、あとのア～エの中からえらぼう。

ア　コントラバスをひく父さんを自まんに思っている。
イ　地味な楽きをひく父さんをふまんに思っている。
ウ　コントラバスしかひけない父さんをかわいそうに思っている。
エ　父さんがはでな楽きをひいてくれてうれしく思っている。

（４）――③線部「あんなこと」とは、どんなことですか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　コントラバスは地味な楽きではないこと。
イ　コントラバスは、はでな楽きではないこと。
ウ　コントラバスよりバイオリンの方がかっこいいこと。
エ　明日のコンサートはとても大切だということ。

（５）――④線部「そんな音」とは、どんな音ですか。あとのア～エの中から二つえらぼう。

ア　はなやかで目立つ音
イ　悲しげできれいな音
ウ　きれいなメロディで明るい音
エ　おなかにひびく力強い音

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

　わたしたちは、ふだんの生活の中でたくさんの電気を使っています。しかし、わたしたちはその生活が当たり前になってしまっていて、電気のない生活を考えることがなかなかできません。もし電気が使えなくなってしまったら、わたしたちの生活はどうなるのでしょう。

　まず、①学校や家の明かりがつきません。そのため、本や教科書は夜になったら読むことができなくなるでしょう。みなさんが大すきなテレビゲームも、電げんが入らないのでできません。おやつにアイスクリームでも食べようと台所に行ってれいとうこを開けると、アイスクリームはとけてどろどろになってしまっています。れいとうこも、電気の力で食べ物をひやしているのです。暑いからクーラーをつけたいと思っても、やはり②これもぴくりとも動きません。

　③水道水も使えなくなってしまいます。意外に思うかもしれませんが、水道の水は、わたしたちが安心して飲めるようにコンピュータを使って、二十四時間、かんりされています。（　　）、電気がなければ安全な水をきゅう水することができません。また、水を送水するときにも電気を使っているので、水を送ることができなくなってしまうのです。

　外に出てみましょう。もちろんエレベーターなど使えないので、マンションの人はかいだんを使ってのぼりおりしなければいけません。④高いところに住んでいる人はたいへんです。

　道に出たら、くれぐれもまわりに注意してください。しんごうがつかないので、車どうしもこまりますし、人も道路をいつわたればよいかわかりません。外に遊びにでかけるといっても、電車も走っていませんから、みなさんはせいぜい歩きか自転車でしかいどうできません。電気が使えなくなった町は、とてもふべんできけんがたくさんあるのです。

（１）―①線部「夜になったら読むことができなくなるでしょう」とありますが、それはなぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　夜に本を読むと目が悪くなってしまうから。
イ　夜になると日の光が落ちて真っ暗になるから。
ウ　夜になるとねむくなってしまうから。
エ　夜になるとお母さんが本を読ませないから。

□

（２）―②線部「これ」とは、何のことですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　テレビ
イ　ゲーム
ウ　クーラー
エ　れいとうこ

□

（3）――③線部「水道水も使えなくなってしまいます」とありますが、その理由をあとのア〜エの中から二つえらぼう。

ア　水を二十四時間かんりしているロボットが動かなくなってしまうから。

イ　安心して飲めるようにコンピュータを使ってかんりしているから。

ウ　水道代がいくらか分からなくなってしまうから。

エ　水を送水するときに電気を使っているから。

（4）（　）にあてはまる言葉を、あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　そのため　　イ　はじめに

ウ　なぜなら　　エ　あるいは

（5）――④線部「高いところに住んでいる人はたいへんです」とありますが、その理由をあとのア〜エの中からえらぼう。

ア　エレベーターにとじこめられてしまうから。

イ　高いところはこわくて、あぶないから。

ウ　高いところはかいだんが急だから。

エ　かいだんだけをのぼりおりしなければならないから。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

①ぼくの父さんは、あんまりかっこいいとは思えない。

父さんは、オーケストラでコントラバスをひいている。コントラバスはバイオリンににた形をしているけど、それよりずっと大きい。ぼくの身長より大きいのだ。オーケストラで、いつも父さんのとなりでコントラバスをひいている小がらな女の人は、コントラバスをかかえると見えなくなってしまいそうだ。父さんは、いつもそれをうでにかかえて家でコンサートの練習をしている。今も、一週間後にせまったコンサートにむけて練習中だ。ところが、父さんはピアノやバイオリンみたいにきれいなメロディをひくわけじゃない。「ヴォー、ヴォー」とへんなひくい音をたてるだけだ。父さんの練習を聞いているだけじゃ、それが美しいクラシック音楽だなんて、とてもしんじられない。

父さんが楽ふを目で追うのを、ぼくはちらりと見やった。

(なんで、もっとかっこいい楽きにしなかったんだろう。)

②バイオリンとかトランペットなら、友だちにも自まんできるのに。コントラバスなんて知っている友だちはいないし、あんなへんな音をたてる楽きをひく父さんを、かっこいいとはとてもじゃないけど思えないのだ。

明日がコンサートという日に、父さんの友だちが家に遊びに来た。その人は、父さんと同じオーケストラでバイオリンをひいている。ぼくは父さんがいないとき、その人にそっとたずねた。

「ねえ、なんで父さんはコントラバスなんて地味な楽きにしたんだろう。」

するとかれは目を丸くしたあと、そっとぼくに言った。

「コントラバスは地味なんかじゃないよ。明日のコンサート、聞きに来てごらん。」

そしてコンサート当じつ。いつもは、はなやかなトランペットやバイオリンにばかり目がいっていたぼくだけど、今日は父さんばかりを見ていた。③あの人はなぜあんなことを言ったんだろう。父さんのコントラバスの音は、今もほかの楽きの音にかき消されてしまっている。④どう見たって、はでな楽きなんかじゃない。

ところが、ほかの楽きの音がとつぜんやみ、父さんたった一人がコントラバスをひきだした。それはとても悲しげで、でもとてもきれいな音だった。ずっしりとおなかにひびいてくる音は力強くて、地味なんかじゃなかった。そんな音を出している父さんは、いつもよりずっときりっとした顔をしていて、とてもかっこよかった。

その日の夜、ぼくはビールを飲んでごきげんな父さんに話しかけた。

「ね、今日の父さん、けっこうかっこよかったよ。」

父さんはびっくりしたようにぼくを見て、それから⑤ニコニコとほほえんだ。その顔はコントラバスをひいていたときの顔とはぜんぜんちがっていたけれど、やっぱりぼくは父さんとコントラバスが、オーケストラで一番かっこいいと思った。

（１）―①線部「ぼくの父さんは、あんまりかっこいいとは思えない」とありますが、それはなぜですか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　父さんは地味な楽きでへんな音を出しているから。
イ　父さんはいつもニコニコしているから。
ウ　父さんはいつもきれいな音を出しているから。
エ　父さんはあんまり顔がかっこよくないから。

（２）―②線部「バイオリンとかトランペットなら、友だちにも自まんできるのに」とありますが、なぜそう思うのですか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　コントラバスより名前が知られていないから。
イ　コントラバスより名前が知られているから。
ウ　バイオリンやトランペットをひく父さんはかっこよかったから。
エ　コントラバスは大きすぎて父さんが見えなくなるから。

（３）―③線部「あの人」とはだれのことですか。本文中から七字でぬき出そう。

（４）―④線部「どう見たって、はでな楽きなんかじゃない」とありますが、なぜそのとき「ぼく」はそう思ったのですか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　トランペットの方がキラキラしてきれいだから。
イ　コントラバスの音はうるさいだけだから。
ウ　父さんがあんまりかっこよくないから。
エ　ほかの楽きの音にコントラバスの音が消されてしまうから。

（５）―⑤線部「コントラバスをひいていたときの顔」とありますが、べつの言い方をしている言葉を、本文中から十五字でぬき出そう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

わたしたちは、ふだんの生活の中でたくさんの電気を使っています。しかし、わたしたちは①その生活が当たり前になってしまっていて、電気のない生活を考えることがなかなかできません。（　）、電気が使えなくなってしまったら、わたしたちの生活はどうなるのでしょう。

まず、学校や家の明かりがつきません。そのため、本や教科書は夜になったら読むことができなくなるでしょう。みなさんが大すきなテレビゲームも、電げんが入らないのでできません。おやつにアイスクリームを食べようと台所に行ってれいとうこを開けると、②アイスクリームはとけてどろどろになってしまっています。れいとうこも、電気の力で食べ物をひやしているのです。暑いからクーラーをつけたいと思っても、やはりこれもぴくりとも動きません。

意外に思うかもしれませんが、水道水も使えなくなってしまいます。水道の水は、わたしたちが安心して飲めるようにコンピュータを使って、二十四時間、かんりされています。そのため、電気がなければ安全な水をきゅう水することができません。また、水を送水するときにも電気を使っているので、水を送ることができなくなってしまうのです。

外に出てみましょう。もちろんエレベーターなど使えないので、マンションの人はかいだんを使ってのぼりおりしなければいけません。高いところに住んでいる人はたいへんです。

道に出たら、③くれぐれもまわりに注意してください。しん号がつかないので、車どうしもこまりますし、車がいつ止まってくれるかわからないので、人も道路をいつわたればよいかわかりません。電車も走っていませんから、みなさんはせいぜい歩きか自転車でしかいどうできません。外に遊びにでかけるといっても、電気が使えなくなった町は、とてもふべんできけんがたくさんあるのです。

(1) ――①線部「その生活」とは、どのようなことを指していますか。あとのア～エの中からえらぼう。

ア　れいとうこやなべを使っている生活。
イ　自転車を使っている生活。
ウ　たくさんの水を使っている生活。
エ　たくさんの電気を使っている生活。

□

(2) （　）にあてはまる言葉を、あとのア～エの中からえらぼう。

ア　あるいは　　イ　もしも
ウ　だから　　エ　なぜ

□

(3) ―②線部「アイスクリームはとけてどろどろになってしまっています」とありますが、なぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　食べ物をひやすための電気がなくなってしまったから。

イ　れいとうこにアイスクリームを入れわすれていたから。

ウ　れいとうこのスイッチを入れわすれてしまったから。

エ　れいとうこがこわれてしまったから。

□

(4) ―③線部「くれぐれもまわりに注意してください」とありますが、なぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　人がしん号を守(まも)らないから。

イ　車のスピードが上がるから。

ウ　しん号がつかないから。

エ　車が止まらなくなるから。

□

(5) 作者(しゃ)がこの文章で一番言いたいことは何ですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　わたしたちは、ふだんの生活の中でたくさんの水を使っている。

イ　わたしたちにとって電気のない生活はとてもふべんなものである。

ウ　わたしたちは、ふだんかられいとうこやクーラーを使っている。

エ　わたしたちが水を安心して飲めるように薬品が入っている。

□

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

食事をしているとき、お父さんやお母さんにおこられたことはありませんか。（　　）、「ごはんをのこしてはいけません」とか「茶わんはきちんと持ち上げなさい」などです。このようなきまりのことを、①マナーといいます。ではなぜ、こうしたマナーを守らなければならないのでしょう。マナーは、世界中どこに行っても同じなのでしょうか。

おとなりの国、韓国を見てみましょう。韓国の人々は日本人と同じように、はしを使っています。ところが、②韓国の人々は、茶わんを手で持ち上げません。茶わんを持ち上げて食べるのは、とてもぎょうぎの悪いことだとされているからです。

持ち上げるどころか、食事のときはぜったいに左手を使ってはいけない国もあります。イスラム教の教えをしんじている国々では、左手はとてもけがれたものだとされています。そのため、③人とあく手をするときや食事をするときには、右手しか使うことができないのです。

ほかにも、手づかみで食べるのが正しいマナーとされている国や、ごはんをわざと一口のこしておくのが礼ぎ正しいとされている国もあります。世界には、国や地いきによって、実に様々なマナーがあるのです。

マナーが国や地いきによってちがうのは、ふしぎなことではありません。何がしつれいでぎょうぎが悪いことかは、国や地いきによってちがいます。日本に住んでいる人にとって、④茶わんは持ち上げなければしつれいですが、韓国ではぎゃくに持ち上げる方がしつれいにあたるのです。食事のマナーとは、いっしょに食事をする人をふゆかいにさせないための気づかいなのです。

ですから、もしみなさんが外国に旅行をするときは、ぜひその国のマナーや習かんを調べてみてください。日本にいるときには見えてこなかったものが、見えてくるかもしれません。

（１）（　　）にあてはまる言葉を、あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　しかし　　イ　そして

ウ　たとえば　　エ　あるいは

（２）―①線部「マナー」とありますが、食事のマナーをべつの言葉で言いかえたものを、本文中から二十八字でぬき出そう。

（３）――②線部「韓国（かんこく）の人々は、茶わんを手で持ち上げません」とありますが、それはなぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　茶わんを持ち上げるのはしつれいなことだから。
イ　韓国では、左手はけがれているとされているから。
ウ　韓国では、茶わんはマナーとかん係（けい）がないから。
エ　韓国の茶わんは持ち上げるには重（おも）すぎるから。

（４）――③線部「人とあく手をするときや食事をするときには、右手しか使うことができない」とありますが、それはなぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　相手（あい）の左手がふ自由（ゆう）かもしれないから。
イ　左ききの人の方が少ないから。
ウ　左手で皿（さら）を持っているから。
エ　左手はけがれたものだとされているから。

（５）――④線部「茶わんは持ち上げなければしつれい」とありますが、これはどの国のマナーですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　韓国
イ　日本
ウ　イスラム教をしんじている国
エ　海外

次の文章を読んで、あとの問いに答えよう。

　食事をしているとき、お父さんやお母さんにおこられたことはありませんか。たとえば、「ごはんをのこしてはいけません」とか「茶わんはきちんと持ち上げなさい」などです。このようなきまりのことを、マナーといいます。ではなぜ、こうしたマナーを守らなければならないのでしょう。①マナーは、世界中どこに行っても同じなのでしょうか。

　おとなりの国、韓国を見てみましょう。韓国の人々は日本人と同じように、はしを使っています。ところが、韓国の人々は、茶わんを手で持ち上げません。茶わんを持ち上げて食べるのは、とてもぎょうぎの悪いことだとされているからです。

　持ち上げるどころか、食事のときは②ぜったいに左手を使ってはいけない国もあります。イスラム教の教えをしんじている国では、左手はとてもけがれたものだとされています。そのため、人とあく手をするときや食事をするときには、右手しか使うことができないのです。

　ほかにも、手づかみで食べるのが正しいマナーとされている国や、ごはんをわざと一口のこしておくのが礼ぎ正しいとされている国もあります。世界には、国や地いきによって、実に様々なマナーがあるのです。

　③マナーが国や地いきによってちがうのは、ふしぎなことではありません。何がしつれいでぎょうぎが悪いことかは、国や地いきによってちがいます。日本に住んでいる人にとって、茶わんは持ち上げなければしつれいですが、韓国ではぎゃくに持ち上げる方がしつれいにあたるのです。食事のマナーとは、いっしょに食事をする人をふゆかいにさせないための気づかいなのです。

　④ですから、もしみなさんに海外旅行の予定があるなら、ぜひその国のマナーや習かんを調べてみてください。日本にいるときには見えてこなかったものが、見えてくるかもしれません。

（１）――①線部「マナーは、世界中どこに行っても同じなのでしょうか」とありますが、答えはどうでしょうか。同じか、同じではないかで答えよう。

（２）――②線部「ぜったいに左手を使ってはいけない国」とありますが、それはどこですか。本文中から十六字でぬき出そう。

（３）――③線部「マナーが国や地いきによってちがうのは、ふしぎなことではありません」とありますが、それはなぜですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　マナーが行われている国と行われていない国があるから。

イ　マナーは守らなくてもいいものだから。

ウ　国や地いきによってぎょうぎの悪いとされることはちがうから。

エ　マナーは場所によって正しいものが行われていないから。

（４）――④線部「その国」とは、どこのことですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　これから旅行をしようとしている国

イ　日本

ウ　イスラム教をしんじている国

エ　韓国（かんこく）

（５）この文章で作者（しゃ）が一番言いたいことは何ですか。あとのア〜エの中からえらぼう。

ア　韓国では、お茶わんを持ち上げるのはしつれいだとされている。

イ　イスラム教では、左手はけがれているとされているので使ってはいけない。

ウ　お父さんやお母さんに食事のマナーでおこられたことがある。

エ　世界中にはいろいろなマナーがあり、正しいとされるマナーも国や地いきによってかわる。